

基本方針1 誰もが移動しやすい公共交通サービスの整備

地域の移動課題対策支援事業 （【基本方針2】【基本方針3】にも関連） ○

【実施内容】

- ・東谷地域
ボランティア輸送「乗りっこ」の運行開始へ技術的支援を実施。
- ・緑台・陽明地域
ボランティア輸送「お出かけ支援」の拡充に技術的支援を実施。
- ・牧の台地域
阪急バス平野山下線・大和団地線の持続可能な運行に向けて、地域協働交通検討部会を5回開催。
「大和バスの利用促進について」をテーマにしたワークショップを実施。
「持続可能な大和バスを実現するために」をテーマにした市長タウンミーティングを実施。
- ・北陵地域
支援対象地区として認定。

【今後の課題や取組内容】

<課題>

- ・公共交通の必要性について、地域の意識を醸成することが課題である。
- ・各地域の移動課題を明確にし、解決に向けて取組を進めることが課題である。

<取組>

- ・既に取組を開始している東谷、緑台・陽明、牧の台地域は継続的に支援する。
- ・北陵地域については、部会を立ち上げ勉強会や住民アンケートなどを実施し、地域内の課題を明確にし、課題解決に向けた取組内容を検討し実施する。
- ・移動課題の解決を希望する新たな地域への支援を開始する。

モビリティ・マネジメント（MM）の充実 （【基本方針2】にも関連） ○

【実施内容】

- ・小学生向けMMを8回実施（「川西市とのせでん」、「交通すごろく」、「バスの乗り方〇×クイズ」など）。
- ・小学校の教員向けMMを1回実施（MMを受けた教員によるMM授業は6回実施された）。
- ・小学校1・2・3年生向け阪急バスの副教材を市内各小学校へ配布。
- ・市民課窓口で転入者に対し、阪急バスのノリセツを配布。

【今後の課題や取組内容】

<課題>

- ・子どもから高齢者までの全世代を対象としたモビリティ・マネジメントをいかにして広げていくかが課題である。

<取組>

- ・学校MM、教員MM、住民MMには継続して取り組む。
- ・各地域や学校教育等で自主的に取り組んでいただける方法を模索する。

安全対策の推進 ○

【実施内容】

・能勢電鉄 平野駅～一の鳥居駅間で豪雨対策工事を実施（国・県・市補助あり）。 【今後の課題や取組内容】 <課題> ・基幹公共交通が安心・安全に運行できるよう計画的に対策を実施していくことが課題である。 <取組> ・引き続き、能勢電鉄(株)は主体的に減災対策に取り組み、市は財政支援を行う。	
公共交通の維持及び利便性向上に向けた事業者連絡会の設置（【基本方針2】にも関連）	○
【実施内容】 ・交通事業者の課題を把握し、解決に向けて協議を行った（合計2回開催）。 （主な課題）人員不足への対応、川西能勢口駅周辺の渋滞対策、二次元コード決済を活用した利用促進 【今後の課題や取組内容】 <課題> ・各交通事業者が抱える本質的な課題の共有やそれに対する具体的な解決策への取組が課題である。 <取組> ・継続して会議を開催し、鉄道、バス、タクシーの各交通事業者及び学識者と連携をとり課題解決を図る。	
渋滞・違法駐車対策の推進（【基本方針2】にも関連）	○
【実施内容】 ・兵庫県、警察と連携した街頭啓発活動を実施（月1回）。 ・違法駐車対策実証実験を実施（単管バリケードの設置、横断防止柵の設置）。 【今後の課題や取組内容】 <課題> ・実行性のある違法駐車対策を検討し、渋滞緩和による路線バスやタクシーの定時性を確保することが課題である。 <取組> ・引き続き、兵庫県、川西警察、市で構成する交通安全対策連絡会議で協議していく	
タクシーの利用環境向上に向けた検討（【基本方針3】にも関連）	△
【実施内容】 ・事業者連絡会において、配車アプリの使用方法の周知について課題を共有。 ・畦野駅のタクシー事業者撤退に伴う、利用環境向上に向けた検討を実施。 【今後の課題や取組内容】 <課題> ・畦野駅のタクシー乗り場の整備が課題である。 ・タクシーの利用環境を向上し、交通空白地・不便地の移動手段を確保することが課題である。 <取組> ・事業者連絡会を活用し、利用環境の向上に向けた取組を検討する。	
ユニバーサルデザインタクシーの導入（【基本方針3】にも関連）	△
【実施内容】 ・特になし。	

【今後の課題や取組内容】	
<課題> ・移動が困難な方の移動手段を確保することが課題である。	
<取組> ・事業者連絡会を活用し、ユニバーサルデザインタクシーの導入に向けた課題を整理する。	
隣接自治体との連携推進	（【基本方針2】にも関連）
○	
【実施内容】	
・能勢電鉄主催の「公共交通利用に関する連絡会」において、能勢電鉄・猪名川町・豊能町との情報交換や課題の共有等、連携推進を図ることができた。	
【今後の課題や取組内容】	
<課題> ・隣接自治体と公共交通の課題解決に向けた連携が課題である。	
<取組> ・市域をまたがる公共交通の持続可能な運行について、交通事業者を交えて連携を深めていく。	

基本方針2 環境にやさしくまちの賑わい向上につながる公共交通の利用環境の整備

公共交通利用者増に向けた取組の実施	○
【実施内容】	
・市内イベントに公共交通で来場された方に対して、帰り分の能勢電鉄と阪急バスの無料乗車券を配布。	
『清和源氏まつり』	
阪急バス：197 枚 能勢電鉄：256 枚	
『川西市交通安全フェア 2025』	
阪急バス：115 枚 能勢電鉄：64 枚	
・交通事業者において、利用者増に向けた取組を実施。	
<阪急バス>	
①リアル謎解きゲーム「大阪豊中謎解き～未完成のキャンバス～」の実施：R7/3/24～12/31	
②川西市域・猪名川町域を運行する路線でのダイヤ改正：R7/5/1	
③「夏バスわくわくキャンペーン」の実施：R7/7/19～8/31	
④「星のカービィ×阪急電車」ラッピングバスの運行・バス停の装飾・1日乗車券の発売：R7/8/22～R8/3/17	
⑤阪急バスの乗り方説明パンフレット「ノリセツ」製作・配布：R7/10	
⑥モビリティ人材育成事業の実施	
⑦緑台小学校 探求学習への参加：R7/9/4	
⑧利用促進施策についてのワークショップを開催：R7/11/16、11/29	
⑨地域公共交通や交通まちづくり等の知見に関する勉強会を開催：R7/9/25、10/20、11/28、12/19、R8/1/3	
⑩多田グリーンハイツ線・平野山下線にて無料デーを実施：R7/11/16、11/24、R8/1/25、2/8	
⑪多田グリーンハイツ地区「おさんぽマルシェ」への参加：R7/11/24	
⑫のせでん貸切イベントへの参加：R8/1/25	
⑬多田グリーンハイツ地区での「モビリティ・ロゲイニング」実施（大雪のため中止）：R8/2/8	

<能勢電鉄>

- ①「のせでんレールウェイフェスティバル 2025 春」の開催：R7/4/26
- ②「茜音・藍色彩と過ごすなつやすみ 2025 クイズ&スタンプラリー」の開催：R7/7/11～9/1
- ③「風鈴電車《音色彩る》」の運行：R7/7/20～8/29
- ④「星のカービィ×阪急電車」のせでん号の運行：R7/9/2～R8/3/17
- ⑤「星のカービィ×阪急電車」スタンプラリーポイント・フォトスポットの設置・1日乗車券の発売
：R7/9/2～11/24
- ⑥「QRコードを活用したデジタル乗車券サービス」の開始：R7/10/1～
- ⑦「のせでんレールウェイフェスティバル 2025 秋」：R7/11/1
- ⑧デジタル駅スタンプアプリ「エキタグ」の導入：R7/11/1～
- ⑨卒業列車“祝電(しゅくでん)”の運行：R8/2/20～R8/3/29

<阪急電鉄>

- ①「阪急沿線観光あるき」の実施：R7/4/1～12/31
- ②第16回「阪急ええはがきコンテスト」の実施：R7/6/6～8/29
- ③「星のカービィ×阪急電車」コラボレーション企画の実施：R7/8/22～R8/3/17
- ④「もみじだより（「多田神社」「満願寺」をご紹介）」の実施：R7/11/4～12/7
- ⑤「朝日・五私鉄リレーウォーク」の開催：R7/10/22
- ⑥「阪急×のせでん合同ハイキング①」の開催：R7/10/22
- ⑦「阪急×北急×のせでん スカイハイキング」の開催：R7/12/13
- ⑧「阪急×のせでん合同ハイキング②」の開催：R8/2/21

<JR 西日本>

- ①ひょうごアクセス 2day パスの発売 R7/4/11～10/30
- ②JR 西日本 QR2day パスの発売 R7/9/5～R9/3/30 ※R8 年度も継続実施
- ③tabiwa 関西エリア QR1day パスの発売 R7/10/2～R9/3/31 ※R8 年度も継続実施
- ④ひょうご観光本部×JR 西日本グループ「冬のごほうび旅キャンペーン」
交通系 MaaS で発売している対象の周遊きっぷ購入者が参加できるデジタルスタンプラリー
- ⑤ひょうご G0! デジタルミッション（冬のごほうびスタンプ!）の開催 R8/1/13～2/28

【今後の課題や取組内容】

<課題>

- ・市・事業者・地域が利用者を増やすための取組を継続的に実施することが課題である。

<取組>

- ・イベントでの無料乗車券の配布を継続して実施し、普段公共交通を利用しない方に公共交通を利用するきっかけを提供する。
- ・各交通事業者において、利用者増に向けた取組を継続して実施する。
- ・新たな利用促進策を事業者連絡会で検討する。

福祉施設・コミュニティ等と連携した情報発信

○

【実施内容】

- ・大和地区では、毎月大和自治会の広報誌（大和 News）でバスの利用者数を報告し、目標達成に向け利用を呼びか

けている。また牧の台会館ではバスの利用促進のため、のぼりや時刻表を設置している。

【今後の課題や取組内容】

<課題>

- ・必要な情報や対象者を把握し、発信していくことが課題である。

<取組>

- ・「地域の移動課題対策支援事業」を進めるなかで、地域住民と協力し地域内施設等での情報発信の強化に努める。

EV バスの導入等の推進

△

【実施内容】

- ・阪急バス(株)と現状を共有。

【今後の課題や取組内容】

<課題>

- ・安全面、費用面、環境面に配慮した取組を進めていくことが課題である。

<取組>

- ・引き続き阪急バス(株)と連携をとり、必要に応じて EV バス導入を支援する。

基本方針3 日常生活を支える地域内交通サービスの構築

地域住民による訪問型支えあい活動に対する支援（介護保険課）

○

【実施内容】

- ・地域住民が主体となり、実施している「訪問型支えあい活動」に対し、活動に要する経費の一部を補助することで活動の継続と発展につなげる「訪問型支えあい活動支援事業」を令和6年度に創設、令和7年度より車両を利用した外出支援を行う団体に対し、安全に配慮し地域の特性に応じた活動ができるよう、補助対象経費と補助額を拡充した。
- ・車両を利用した外出支援を実施する5地域（明峰、多田、緑台・陽明、けやき坂、東谷）の6団体に補助金を交付した。（けやき坂地区2団体）
- ・令和8年度も活動の立ち上げや継続を支援する。

【今後の課題や取組内容】

<課題>

- ・外出支援のニーズへの対応が課題である。

<取組>

- ・地域住民の主体的な外出に関する活動の継続と新規立ち上げへの支援を実施する。